

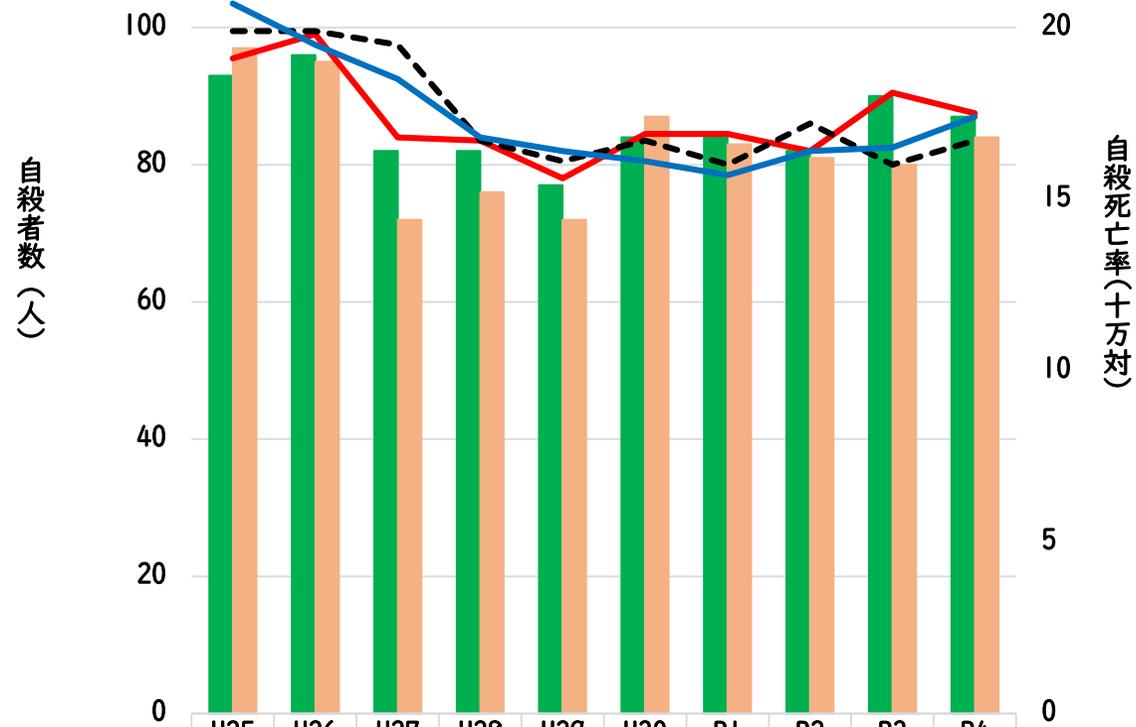
松戸市の自殺統計について

令和5年10月31日
松戸市自殺対策推進部会

自殺統計について

	人口動態統計	警察庁自殺統計
出典元	厚生労働省	警察庁が自殺統計原票を集計した結果
対象	日本における 日本人	日本における 外国人も含む
計上方法	死因不明の場合は不明のまま処理され、訂正報告がない場合には自殺には計上されない	捜査などにより自殺と判明した時点で「自殺統計原票」を作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺総合対策大綱の数値目標における自殺死亡率の基 ・WHOに自殺死亡者（率）を報告 ・千葉県衛生統計年報（自殺者数・死亡率） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における自殺の基礎資料はこれを基に厚生労働省自殺対策推進室が集計 ・地域自殺実態プロファイルの基
分類	住所地を基に死亡時点で計上	自殺日・発見日、住居地・発見地 市では自殺日・住居地を使用
内容	自殺者数、自殺死亡率、男女別、年代別	左記に加え、 原因・動機別、職業別、自殺未遂歴の有無別、同居人の状況別 など
数の公表時期	<ul style="list-style-type: none"> ・概数：翌年の6月 ・確定数：翌年の9月 	<ul style="list-style-type: none"> ・速報値・暫定値：月別の数値は翌月 ・確定値：翌年の3月

松戸市の自殺の状況 ①自殺者数、自殺死亡率の年次推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
■ 人口動態統計 自殺者数	93	96	82	82	77	84	84	82	90	87
■ 警察庁 自殺者数	97	95	72	76	72	87	83	81	80	84
— 人口動態統計 自殺死亡率(松戸市)	19.1	19.8	16.8	16.7	15.6	16.9	16.9	16.4	18.1	17.5
- - - 人口動態統計 自殺死亡率(千葉県)	19.9	19.9	19.5	16.7	16.1	16.7	16.0	17.2	16.0	16.7
— 人口動態統計 自殺死亡率(全国)	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4

松戸市自殺対策計画の目標値
自殺死亡率(10万対)
2016年 (H28) 16.7

↓

2023年 (R5) 13.2

↓

2026年 (R8) 11.7

自殺死亡率の平均値

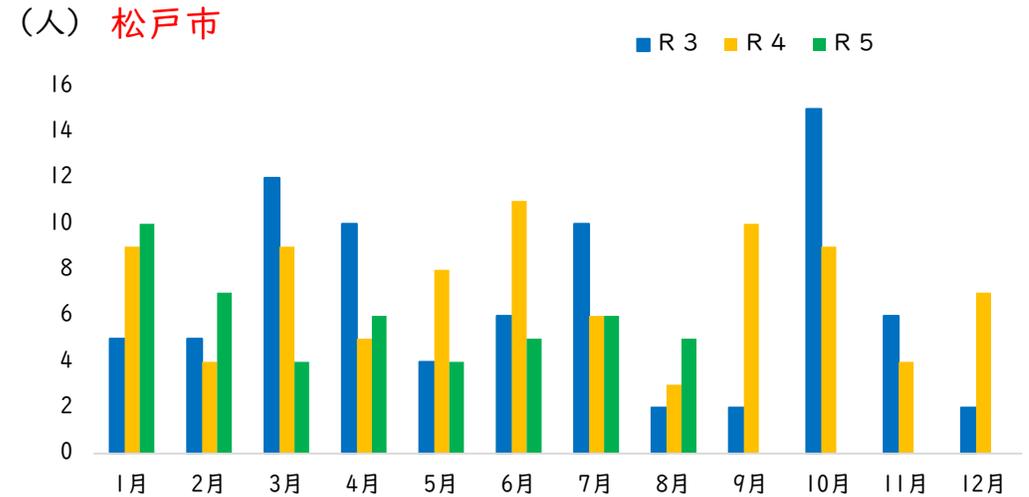
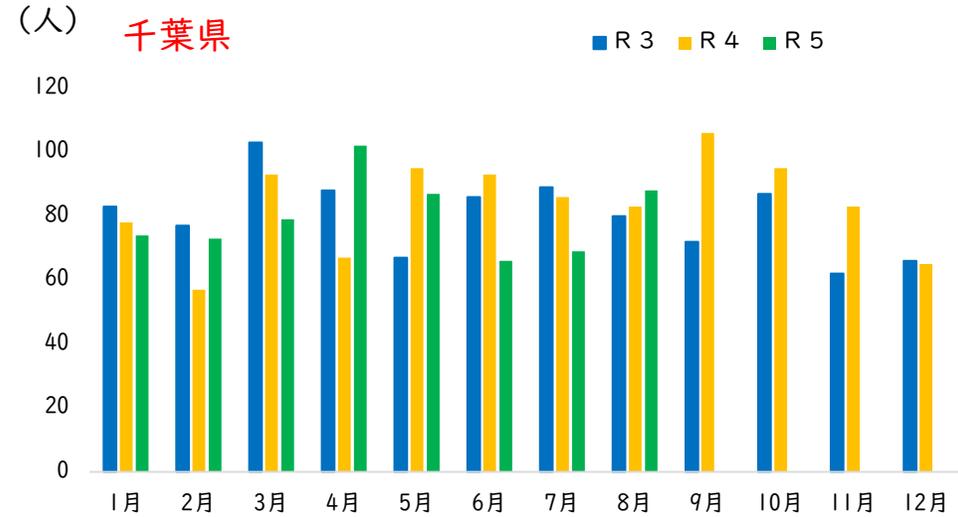
	H25~R4 (10年)	H30~R4 (5年)
松戸市	17.38	17.16
千葉県	17.47	16.52
全国	17.40	16.42

○本市の自殺者数・自殺死亡率は国、県と同様に減少傾向であったが、平成30年以降、下げ止まりとなっている。

松戸市の自殺の状況 ②月別自殺者数の推移



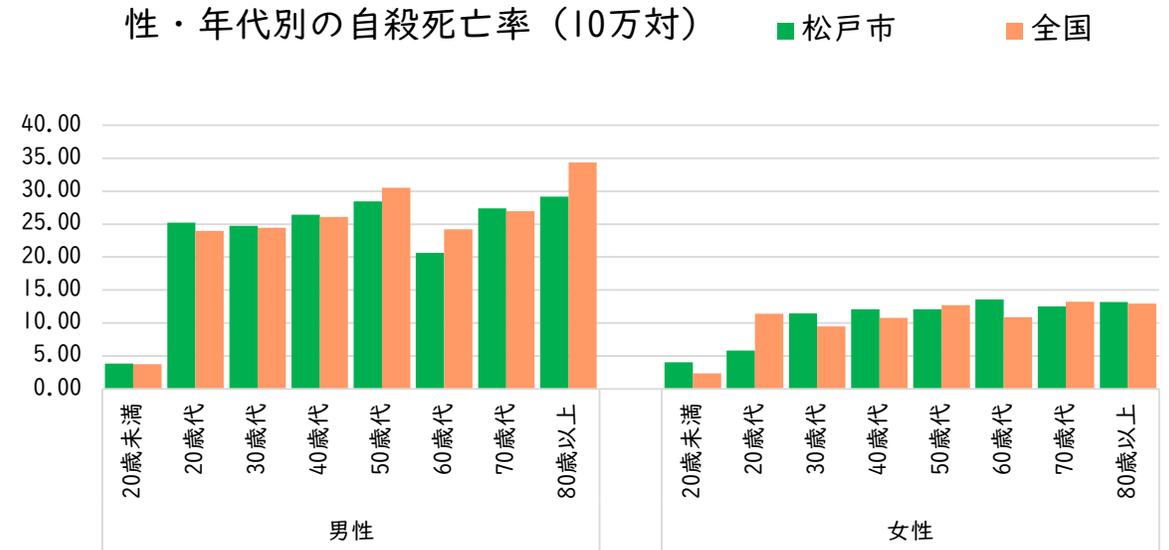
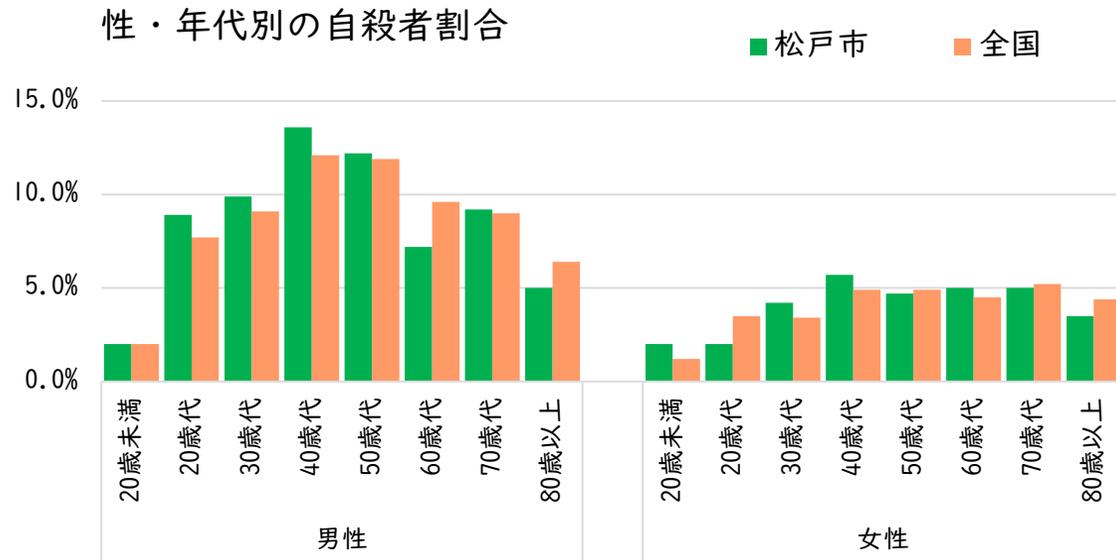
いずれも警察庁自殺統計（自殺日・住居地）



○本市の令和5年の自殺者数は、国、県と同様、明らかな増加は見られていない。

松戸市の自殺の状況

③性・年代別の自殺者割合と自殺死亡率（平成29年～令和3年平均）



※性・年代別の自殺者割合は、全自殺者に占める割合を示す

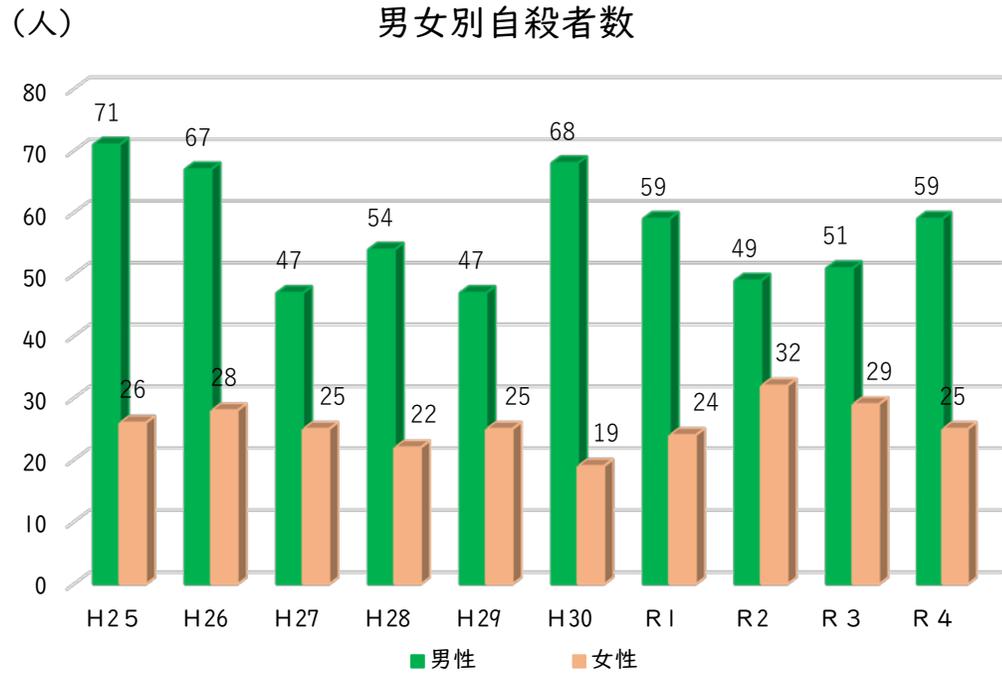
警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

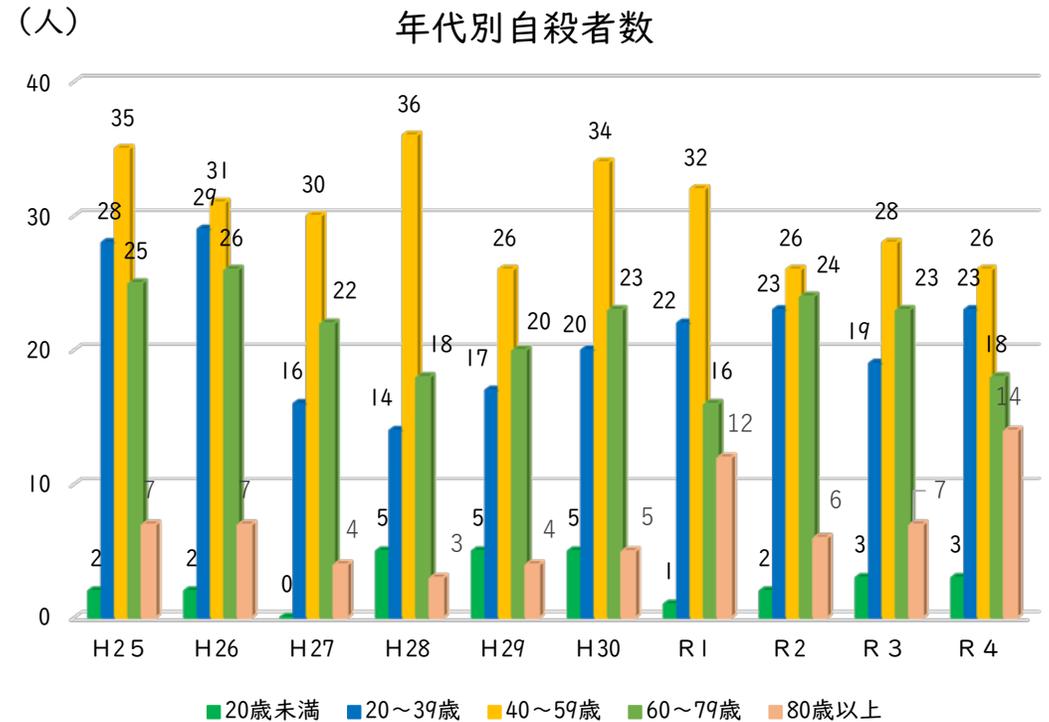
○本市では、全国と同様、40～50歳代男性の自殺者数が最も多い。

○自殺死亡率については、性別では男性の方が女性より高く、年代別では、20歳代以上では、ほぼ同じ水準となっている。

松戸市の自殺の状況 ④性・年代別自殺者数の推移



警察庁自殺統計（自殺日・住居地）



警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

○性別では、男性の自殺者数が多いが、令和2年～3年は女性が以前より増加した。

○年代別では、40～59歳の自殺者数が最も多いが、近年は、世代間の差が少なくなっている。

松戸市の自殺の状況

⑤年代別死亡要因（平成29年～令和3年の合計）

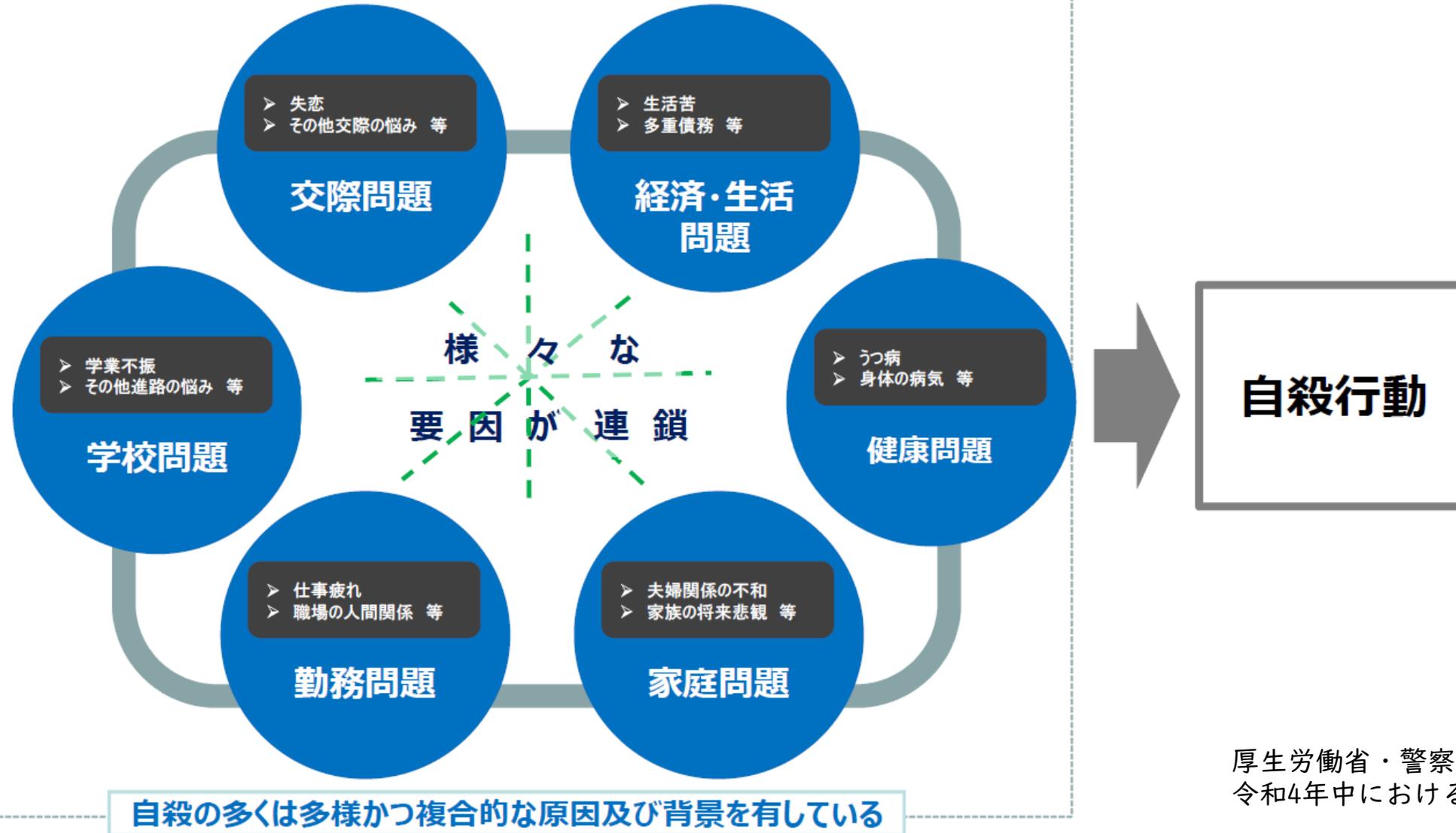
年代	第1位		第2位		第3位		※死亡者 総数
	死因	死亡者数	死因	死亡者数	死因	死亡者数	
10歳未満	循環器系の先天奇形	9	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	8	染色体異常、他に分類されないもの	6	60
10～19歳	自殺	19	悪性新生物・その他の新生物・不慮の事故・その他の外因		各2	34	
20～29歳	自殺	40	悪性新生物	11	心血管（高血圧性を除く）	10	84
30～39歳	自殺	63	悪性新生物	23	心血管（高血圧性を除く）	15	138
40～49歳	悪性新生物	153	心血管（高血圧性を除く）	84	自殺	82	530
50～59歳	悪性新生物	378	心血管（高血圧性を除く）	179	脳血管疾患	71	1,028
60～69歳	悪性新生物	942	心血管（高血圧性を除く）	348	脳血管疾患	135	2,158
70～79歳	悪性新生物	2,243	心血管（高血圧性を除く）	744	脳血管疾患	349	5,520
80～89歳	悪性新生物	2,164	心血管（高血圧性を除く）	1,324	老衰	659	8,339
90歳以上	老衰	1,194	心血管（高血圧性を除く）	852	悪性新生物	644	4,975

※死亡者総数：平成29年～令和3年までの各年代の死亡者合計人数

人口動態統計（厚生労働省）より集計

自殺の原因・背景について

- 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。
(「経済・生活問題」や「家庭問題」等、他の問題が深刻化する中で、これらと連鎖して、うつ病等の「健康問題」が生ずる等)

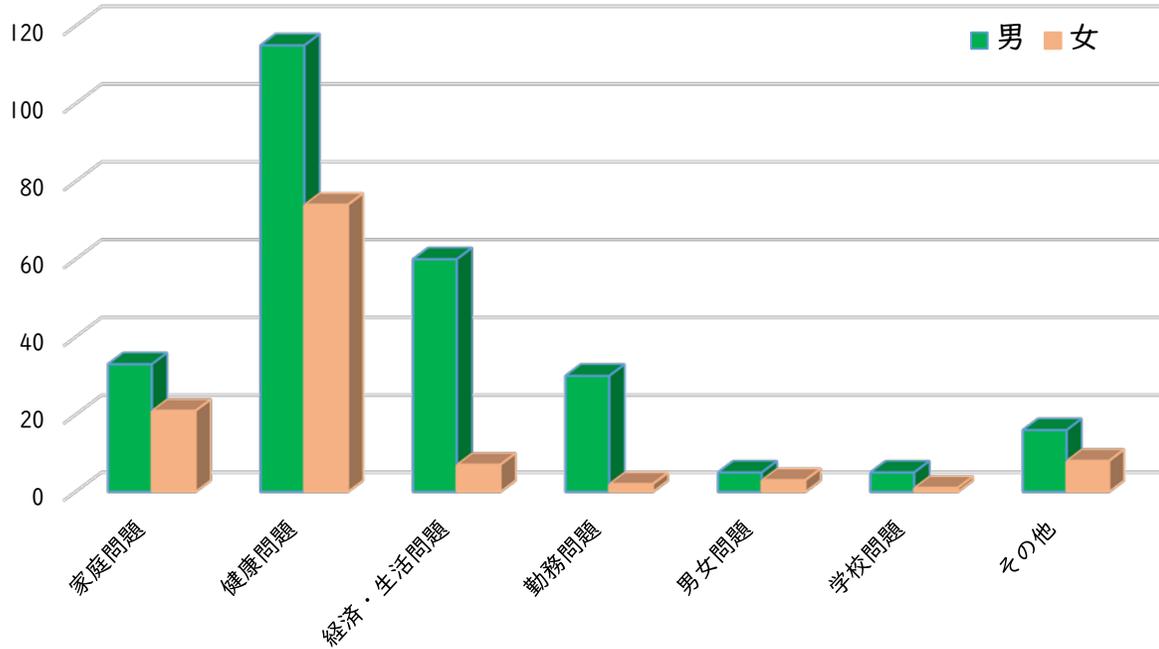


厚生労働省・警察庁
令和4年中における自殺の状況より

松戸市の自殺の状況 ⑥原因・動機別自殺者数

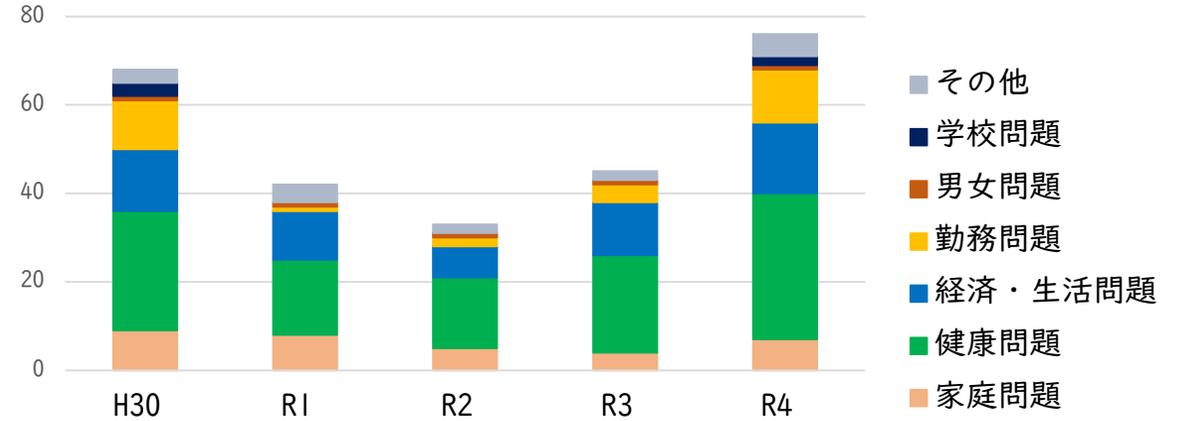
原因・動機別自殺者数の推移

原因・動機別自殺者数（平成30年～令和4年合計）

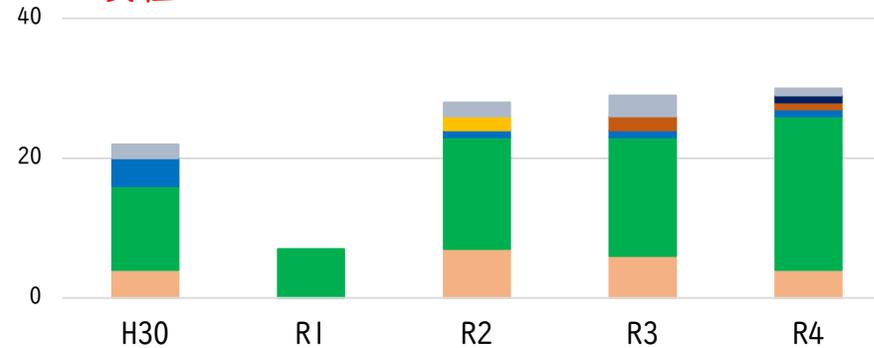


警察庁自殺統計（自殺日・居住地）※複数回答

男性



女性

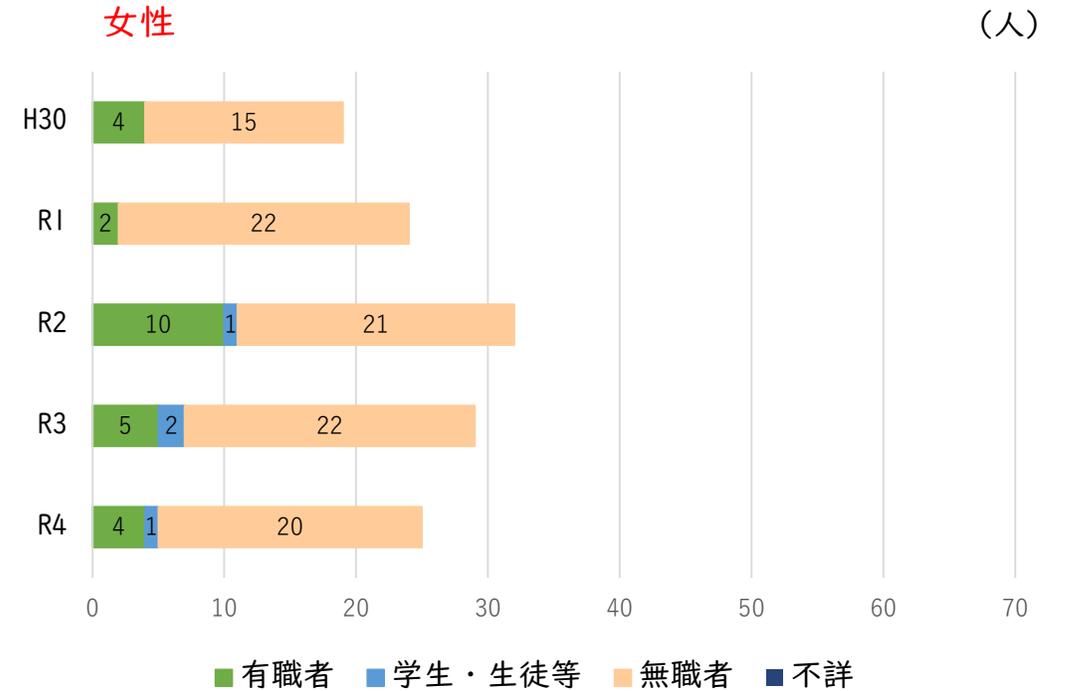
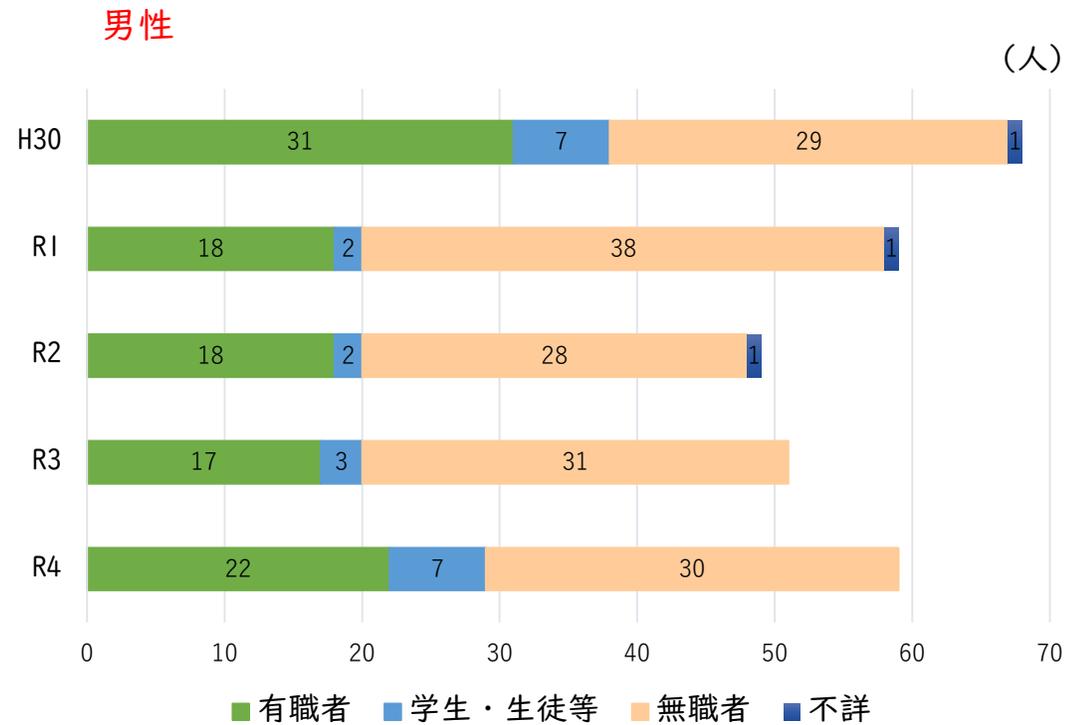


警察庁自殺統計（自殺日・居住地）※複数回答

○自殺者の原因・動機については、男女ともに「健康問題」が多い。

○男性では「経済・生活問題」、女性では「家庭問題」の割合も高い。

松戸市の自殺の状況 ⑦職業別自殺者数



○男性は、女性よりも有職者の割合が高い。

○令和2年以降、女性の有職者の割合も増えている。

警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

令和5年度 関連要因についての相談状況調査

通番	担当課	事業名または業務の内容	関連する施策								項目	件数 (R2年度)	件数 (R3年度)	件数 (R4年度)	備考			
			基本施策				重点施策											
			ネット ワーク	人材 育成	啓 発	促 進 要 因	児 童	生 活 困 窮 者	高 齢 者	勤 務 ・ 経 営						子 ど も ・ 若 者		
1	男女共同参画課	ゆうまつどころの相談				●					●	女性の相談件数	333	380	376	令和2年度4月から5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面接相談を中止し、電話相談のみ実施		
2						●					●	男性の相談件数	44	50	31			
3	商工振興課	労働相談				●					●	相談件数	73	97	105	新型コロナウイルス感染症等の影響により、R2年4、5月の相談を休止。		
4	消費生活課	多重債務についての相談				●		●				相談件数	26	41	38			
5	福祉政策課	低所得者支援事業				●		●				法外保護金の申請件数	179	163	165	令和2年度179件のうち、34件は新型コロナウイルスに係る緊急保護（単年度事業）		
6		生活福祉資金貸付制度（松戸市社会福祉協議会が実施）				●		●				生活福祉資金貸付の申請件数	134	136	272			
7		生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業）				●		●				相談件数	981	817	659			
8	健康推進課	健康相談				●		●	●	●	●	精神疾患やこころの健康に関する相談件数	実数：70 延数：273	実数：44 延数：173	実数：96 延数：227	令和4年度より開始した、「生きているのがつらい」と感じている方のための相談窓口		
9		生きる支援相談窓口				●		●	●	●	●	相談件数			543			
10	地域包括ケア推進課	福祉まるごと相談窓口				●		●	●		●	相談全体件数	3,086	5,947	3,376			
11			①健康・医療に関する相談				●		●	●		●	再掲	661	1,234		682	
12			②経済的な問題に関する相談				●		●	●		●	再掲	188	871		668	
13		総合相談事業	高年齢虐待防止ネットワーク関係業務	●								●	相談全体件数	93,925	106,084	127,689	地域包括ケア推進課と地域包括支援センターの相談件数（福祉まるごと相談を除く）	
14				①健康・医療に関する相談				●		●	●		●	再掲	21,946	24,048	28,181	地域包括ケア推進課と地域包括支援センターの相談件数（福祉まるごと相談を除く）
15				②経済的な問題に関する相談				●		●	●		●	再掲	5,761	5,679	6,927	地域包括ケア推進課と地域包括支援センターの相談件数（福祉まるごと相談を除く）
16	高齢者虐待の通報受理件数											●		214	231	293	通報受理件数のうち虐待認定件数 令和2年度78件、令和3年度106件、令和4年度140件	

通番	担当課	事業名または業務の内容	関連する施策								項目	件数 (R2年度)	件数 (R3年度)	件数 (R4年度)	備考	
			基本施策				重点施策									
			ネット ワーク	人材 育成	啓 発	促 進 要 因	児 童	生 活 困 窮 者	高 齢 者	勤 務 ・ 経 営						子 ども ・ 若 者
17	生活支援課	生活保護施行に関する業務				●		●				生活保護の相談件数	2,971	2,765	2,890	
18			再掲	生活保護の申請数	1,182	1,187	1,183									
19	障害福祉課	基幹相談支援センター等における相談支援				●						相談全体件数	9,268	23,832	20,963	令和3年度から、重層的支援体制整備事業として、中央・小金・常盤平基幹相談支援センター及び社会福祉法人桐友学園による相談体制となったことから、4法人合計の件数を記載。
20			再掲	①こころの不調に関する相談	653	1,406	2,552									
21			再掲	②経済的な問題に関する相談	960	1,213	1,139									
22	子どもわかもの課	青少年相談				●	●				●	相談件数	214	353	330	
23	こども家庭センター	婦人相談				●					●	相談全体件数	347	356	361	
24			再掲	DVについての相談	121	102	127									
25		家庭児童相談				●					●	児童虐待の通報受理件数	1,317	1,404	1,400	
26		市民健康相談				●		●	●	●	●	相談全体	12,510	13,769	11,146	
27			再掲	こころの健康に関する相談	373	389	192									
28		乳児家庭全戸訪問事業における産後うつチェックリストによるスクリーニング				●					●	点数が高かった者の数	170	186	203	
29		児童生徒課	教育相談・心理相談				●				●	相談件数	906	1,126	973	令和4年度より担当課の変更のため、本庁受理面談及び不登校相談のみ対象とする。
30	スクールソーシャルワーカーによる相談					●				●	相談件数(延件数)	6,379	8,914	13,326		

令和5年度 うつ病等罹患状況調査票

担当課	項目	件数 (R 2 年度)	件数 (R 3 年度)	件数 (R 4 年度)	
障害福祉課	自立支援医療の精神通院 申請数 (新規)	1,065人 (内うつ病428人)	919人 (内うつ病410人)	1,156人 (内うつ病494人)	
国保年金課	うつ病 (外来)	レセプト件数 (被保険者千人当たり)	16.941	18.269	18.236
		被保険者医療費総点数	39,240,564	40,402,194	37,732,303
	うつ病 (入院)	レセプト件数 (被保険者千人当たり)	0.297	0.314	0.297
		被保険医療費総点数	16,180,877	17,585,342	14,525,029